

富友会 会誌

2023

No.76

静岡県立富士高等学校同窓会富友会



富友会総会・懇親会・第34回同窓会日程

日	時	令和5年8月19日(土)
総	会	富士市交流プラザ 多目的ホール
		13:30 受付開始
		14:00~14:50
記念講演会		15:00~15:50
	講師	佐野亜裕美 氏(高校53回) 関西テレビ プロデューサー
	演題	「社会をまなざすドラマの作り方」
懇親会		ホテルグランド富士「孔雀の間」
		16:10~17:40
会費		7,000円(当日参加も可)
第34回卒業生同窓会2023		ホテルグランド富士「富士の間」
		18:00~20:00

※富士市交流プラザ 富士市富士町20-1 TEL 0545-65-5538
 ※ホテルグランド富士 富士市平垣本町8-1 TEL 0545-61-0360
 ※担当幹事：高34回、39回、44回、49回
 お問い合わせ TEL 090-8869-2709 望月寿男(高34回)

もくじ

巻頭言…………… 幹事長 小池 智明(高二十九回) …… 1

縁つらひの …… 会 長 船村 雅彦(高二十九回) …… 2

御挨拶…………… 校 長 小林 浩明…………… 3

一〇〇周年記念事業 ご協力ありがとうございました…………… 4

一〇〇周年記念事業実行委員会委員長 小室 直義(高十九回)…………… 4

随 想…………… 6

チャットGPTで寄稿文を作成 澤山常清(高二十回)・富士
 高の想い出 宮武(小林)加代子(高二十回)・木曜会と富友会
 北村 修(高三十回)・己の限界への挑戦―極真空手初段への
 道― 大内仁守(高三十七回)・三好先生のこと 後藤哲男(高
 四十回)・富士高近くの町工場より 佐野純也(高五十回)・「勇
 魂の風」 佐野昌平(高五十五回)

学校だより

部活動の記録…………… 18

コロナ禍の不自由さのなかで、立派に一〇〇周年を飾った

七十五回卒業生たちの今春の進路を振り返る…………… 23

大学別合格者数…………… 24

最近三年間の卒業生の合格状況…………… 26

人材の情報提供のお願い…………… 27

事務局より…………… 28

富友会寄付・会計報告…………… 30

富士高校クラブ後援会からお願い…………… 32

校訓



克己修身を練り
勤勉實力を養え
至誠事に当れ

巻頭言

同窓生がサポートするキャリア教育…富士高1年生の「企業訪問」

富友会 幹事長 小池 智明 (高29回)

近頃「キャリア教育」という言葉を耳にしませんか？

文部科学省等の資料によれば、キャリア教育とは「社会的・職業的自立に必要な基盤となる能力や態度の育成を通して、自分らしい生き方の実現を促す教育」とされ、現在では小学校の段階から職場見学や職場体験等を通じて、将来の夢や希望を描くようなプログラムが工夫・実践されています。

いわゆる進学校である富士高でも同様で、数年前から1年生が大学卒業後の就労、キャリア形成等をイメージできるよう「企業訪問」に取り組んでいます。

創立100周年を前にした4年前、学校側から「企業訪問に富友会（同窓会）のネットワークを活用する形で協力いただけないか？」との投げかけがありました。

具体的には、同窓生が経営あるいは勤務する企業等を生徒が訪問し、企業の説明や意見交換を同窓生に直接行っていただき、その「仲立ち」を富友会が担うというものです。

富友会では、「同窓会として直接在校生の役に立ち、将来の就職・Uターン等にも繋がるウイン・ウインの事業だ」と捉え、目立ちはしませんが100周年記念事業の一つとしてこの2年間取り組み、3年目の今年も7月21日（金）に実施したところです（この原稿を書いている5月初旬時点での予定です）。

病院、銀行、新聞社、テレビ局、製造業、建設業、農業等々、関係（経営、勤務）する同窓生の皆様のご協力のおかげで、毎年、県内企業30～40社を訪問しています。

私は、3年度は㈱イーシーセンター様（高44回・海野幸男社長）、4年度は東名電機㈱様（高39回・上柳正仁会長）の企業訪問に同行しました。

生徒達からの「高校時代の時間の使い方は？」、「仕事で苦勞・努力していることは？」、「社会に出て役立つ人とは？」等の質問や意見交換の中で、同窓生の社長さんや従業員の方から愛情あふれる対応・アドバイスをいただき、生徒ともどもとても感動するとともに、同窓会ならではの有意義な取り組みだと実感しています。

100周年を経た本年度以降、富友会の取り組みの柱の一つとしていけたらと思います。



縁というもの

富友会 会長 船村 雅彦 (高29回)

先日、信州は諏訪湖のほとりにある諏訪市立原田泰治美術館に妻と2人で行ってきました。昨年3月2日に亡くなった画家の原田泰治氏のお別れ会が諏訪市文化センターで行われたからである。

原田泰治美術館の名誉館長を務める「さだまさし」さんが実行委員長そして諏訪中央病院名誉院長の鎌田實さんが副実行委員長という事でコロナが明けてやっと開催の運びとなりました。「原田泰治先生を偲ぶ会」の案内状が先生の長女である美室（みむろ）さんより届いた。当日は長野県知事諏訪市長他各界の著名人の挨拶に始まり、第2部はさだまさしさん鎌田實さんのフリートークとミニコンサート、本当に笑いあり涙ありの素晴らしい偲ぶ会でありました。改めて原田泰治さんの御冥福をお祈りしたいと思います。「原田先生ありがとうございました。」

原田泰治氏の作品との出会いは今から40年ほど前、私がサラリーマンとして独身暮らしを東京でしていた頃、朝日新聞日曜版に毎週掲載が始まった「原田泰治が描く日本のふるさと」の絵に感動を覚えたのが最初、その後2年半もの間掲載され続けたこれらの作品たちは私の心を毎週癒してくれていた。

長野出身の私の妻は当時、長野市の書店として全国的に有名な「平安堂」に勤務しており平野稔社長（故人）の下で働いていたが、原田先生が奥様と一緒に平安堂によく訪れて平野社長と会っていたようです。後から分かった事ですが平野社長と原田さんは従兄同士であったとの事。その話を聞きますます原田さんへの憧れは大きくなっていったが日常に忙殺されいつの間にか長い時間が経過してしまいました。2018年原田泰治美術館を訪問した際、偶然原田さんと初めてお会いする機会を得て、握手を交わしたとき「企画展をロゼシアターで行いたい」という強い思いを描いた。

2019年7月その思いはロゼシアターに於いて、私が社長を務める船村興産倉庫(株)創立50周年記念事業という形で実現しました。ロゼシアターの決まりで展示ホールの使用は1週間に限られ、本当に短期間の「原田泰治企画展」となってしまいましたが、多くの来場者に恵まれ1週間の開催で約4,000人ほどの来場は展示ホールの企画としてはロゼ始まって以来ではないかと思えます。その時に原田先生と約束を交わした「田子の浦から観る富士山の絵」であるが、残念ですが実現できずに終わってしまいました。

自分の事を長々と書いてしまいましたが今年の富士高100周年では皆様にお世話になりました。本当に皆様の御協力あってこそこの記念事業であったと思えます。新品に総入れ替えした際の古い机椅子2,600台は全てカンボジアの学校に寄贈され、最後の締めくくりとして富士高生12名によるカンボジア訪問を実現させました。ツアー中に多くの体験をしたであろう12名の学生たちに私が話したのは「縁というものを大切に下さい」という事です。100周年記念事業の御協力に感謝の気持ちを以って富友会の皆様との御縁を大切にしたいと考えております。ありがとうございました。



御 挨拶

校 長 小林 浩明

本年4月に校長として着任いたしました。どうぞよろしくお願いたします。

富友会の皆様には、平素より本校の教育活動に対しまして御理解・御協力・御支援をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

昨年度は、創立100周年記念事業の実施に際し御尽力いただき、また、生徒に対して最適な学習環境の整備をしていただいたことに併せて深く感謝申し上げます。

生徒は、校訓「克己心身を練れ 勤勉実力を養え 至誠事に当れ」のもと、授業・部活動・行事等の学校生活を通じて学力・人間性・体力等を身に付け、その実績はこの会誌に掲載されておりますので御参照ください。

現在もなお、視野の広さ、主体性、行動力、論理的思考力、協働性、協調性、柔軟性、傾聴力の8つの資質・能力（富士高エイト）を身に付けることが出来るよう、教職員一同指導・助言を行っております。富士高校に進学してきた高い志を持った仲間と切磋琢磨し、将来国際社会や国内及び地域の発展に貢献する人となるため、様々な経験をし「生きる力・生き抜く力」、失敗を恐れず行動したからこそ成功や失敗をして気付く力などを身に付けるとともに、「知の探索・知の進化」「共感力・創造力」を磨き、「百尺竿頭」さらなる高みを目指し学校生活を送るとともに卒業後も富友会の皆様のような人となることを期待し指導していきたいと思います。

そして、現在話題となっているウエルビーイング「こころ」「からだ」「社会的なつながり」が良好な状態となり、GDPとともにGDWが高い個人・社会となる有為な人材となって欲しいと思っております。

森信三氏の言葉に「人間は一生のうち逢うべき人には必ず逢える しかも一瞬早すぎず 一瞬遅すぎない時に」があります。出会いを大切に多くの人と出会い、視野を広げ、コミュニケーション力、創造力を身に付けることを願っております。

約3年間行事の変更や縮小など教育活動が制限されてきました新型コロナウイルス感染症対策につきましても、感染症法上の位置づけも変更され、これからは変化の激しい時代を生き抜き、先を見据え自らの資質・能力を高め社会のために貢献し、さらには次の100年に向けてこれからの富士高を支える人材を育成することを目指し積極的に取り組んでいきたいと考えております。

これからの教育活動の実施に際し、今後とも富友会の皆様には御理解・御協力・御支援のほどよろしくお願いたします。

100周年記念事業 ご協力ありがとうございました

100周年記念事業実行委員会委員長 小室 直義 (高19回)

令和4年11月11日に富士高創立100周年記念式典を富士市文化会館ロゼシアターで全校生徒と共に盛大に執り行い、計画された100周年記念事業（特別事業としての机・椅子購入、記念誌発刊、式典etc）の全てを無事終えることができました。そして令和5年3月27日に開催された100周年記念事業実行委員会・正副専門部長会において会計決算そして監査報告をいただき100周年事業の終了となりました。

杉山洋一校長・篠宮晋士校長・杉山禎校長3代の校長に亘り足掛け6年の期間、事業費決算額8,273万余円という金額規模、そしてなによりもコロナ禍真っ只中であつたが事業が遂行できたことは、学校関係者・記念事業実行委員会役員・同窓生・PTA・在校生そして寄付を寄せていただいた方々のご支援ご協力があつてのことに深謝し一重にも二重にもお礼申し上げる次第です。本当にありがとうございました。

事業の今後については富友会に引き継いでいただくわけですが、

- ①・富士高未来の人づくり基金として1,000万円
・富友会支援金14,592,581円
合計24,592,581円を富友会に移管。
 - ②寄付者名簿保存⇒学年・氏名・金額を記載したもの（正本として学校保存）。
※なお本年度富友会誌送付の際、学年・氏名のみについての寄付者名簿を同封します。
 - ③記念事業に係る資料の保存（学校と情報共有し所在を明確にしておく）。
 - ④100周年記念HPを富友会HPで活かしていく。
 - ⑤残余の記念誌、記念DVDの販売。
- 以上①～⑤となります。

富友会役員の皆様方よろしくお願ひいたします。

さて、100周年に際して喜ばしいことに記念事業の他にも数々の事業が興きたことを報告しておきたいと思います。

◎富士高OGふじざくらの会が100周年事業キックオフとしてソプラノコンサートを開催してくれました（令和4年5月21日・ロゼシアター中ホール・観客約500人）。

◎テレしず（テレビ静岡）が富士高創立100周年記念番組として、～物理学者・戸塚洋二が遺したもの～「幻のノーベル賞」を令和4年10月10日放送。このスポンサーは富友会有志企業が参加。

◎机・椅子購入に伴い廃棄予定の古机・椅子を船村富友会々長の提案実行でカンボジア・プノンペンの学校に寄付。

◎令和5年3月に船村会長以下3名の富士高教職員と12名の在校生が現地訪問し、富士高のシールを貼ってある机・椅子が活用されていることを確認、同時に生徒間の交流事業を行ったとのこと。

※カンボジア行については1、2年在校生70名の希望者があったとのこと。

余談となりますが100周年記念特別事業として当初計画はボストン在住の富士高OGが受け皿となつての在校生のニューヨーク・ボストン派遣を計画し、教師による下見も行ってのことが…コロナで断念。それがこの度はプノンペンへと、富士高生のグローバル化の一端をみるようで感慨を新たにしました。

終わりにですが「創立100周年」という言葉がキーワードとなつて卒業生・在校生が共々富士高に寄せる想いがより一層高まっていただけではないか、と確信する次第です。

100周年スローガン『百尺竿頭』

富士高の益々の発展を願ってお礼の挨拶とします。

※寄付等でご協力をいただいた方には、返礼品等をお送りしていますが、連絡先や住所が不明なため、送付できない方がいます。

該当する方は、学校事務室まで連絡をいただければ幸いです。

タ（ビッグデータ）が世界中を飛び回り刻々と保存されている状態である。チャットGPTはこのビッグデータから瞬時に質問の趣旨に該当するデータを検索し回答するソフトである。

チャットGPTの発表情報を昨年12月頃得て、ついに恐れていたものが、できてしまったかというのが最初の思いであった。「2001年宇宙の旅」に出てくる「HAL9000」というロボットがまさに今回出現した「チャットGPT」である。人間が迷った時、HALが的確な答えを出した。あれから20年余、AI化は加速度的に進化し、とうとうここまで来た。もう後戻りできない。「チャットGPT」のような「生成AI」と寄り添って生きていくしかないのである。現在開発途上の量子コンピュータが多分10年後位に完成し、生成AIと自動操縦が合わさった時、かなり精度の高い生成AIに成り、すべての分野で人間の補

助的な補充的な存在になると思われる。ちなみに「チャットGPTが社会に与える影響を教えてください」と質問したら以下の回答が返ってきた。

【チャットGPTは、社会に多くの影響を与えることが予想されます。以下はその一部です。

1. コミュニケーションの改善…チャットGPTは、人間のように自然な形でコミュニケーションを行うことができます。言語モデルの高度な生成能力を活用して、顧客対応やカスタマーサポート、FAQ対応などの業務を効率化し、顧客満足度を向上させることができます。
2. 教育の支援…チャットGPTは、オンライン教育や遠隔学習の分野で活用されることが期待されます。生徒や学生に対して、質問応答や解説を行うことで、学習のサポートを提供することができます。

3. 言語の壁の克服…チャットGPT

は、異なる言語を話す人々の間のコミュニケーションをサポートすることができます。リアルタイムの翻訳や言語学習の支援により、言語の壁を克服し、異文化間のコミュニケーションを促進することができます。

4. 自己啓発の促進…チャットGPTは、人々が自己啓発や興味を持つ分野についての情報を取得する手段として活用されることができます。質問応答や情報提供を通じて、人々の学びや自己成長を支援することができます。

5. 人間労働力の変化…チャットGPTの導入により、一部の業務が自動化される可能性があります。これにより、労働市場や職種の構造に変化が生じるかもしれません。新しい技能や職種の需要が増える一方で、一部の従来の業務が減少する可能性もあります。

6. 偽情報やバイアスのリスク…チャット

トGPTは、情報生成の能力を持つため、偽情報の生成やバイアスのある情報の生成につながるリスクがあります。適切な情報のチェックやフィルタリングが重要であり、技術の適切な使用に対する意識が求められます。】

と、このように、普段使ったことのないような単語や、文章の節回しがすら表現され一つの文章を生成してもらえる。私みたいな筆不精でも、普通以上の文章を書くことができる。読者は、この文章を私が書いたと思うだろう。ビッグデータの中に、今までの膨大な小説、随筆が登録されていれば、文学的な表現が織り込まれるようになり、作家に近い文章生成も可能である。兎にも角にも、寄稿文を依頼されたが、寄稿文に限らず挨拶を頼まれても臆することがなくなった。一から考えなくてもよく、GPTが考えた文章に自分用に筆を入れれば良くなったから

である。これからの余生は長くはないが、チャットGPTを上手に使いこなして人生に幅を広げて行きたいと思う。

本当は、富士高時代の友人との出会いから突然の別れ、楽しかったハーモニカバンド等のことを書きたかったが、チャットGPTだけで字数が制限を超えそうであるので、生きていければ、またの機会としたい。

最後になるが、「2001年宇宙の旅」では、HAL9000は、自分の答えが機長から信じてもらえず、暴走し、反乱を起こし、最後にCPUをシャットダウンされてしまいます。

以上。



随想

富士高の想い出

宮武(小林)加代子

(高二十回)

一年生入学時のクラスの仲間への思い出は、強いと思います。一年E組と言っただけで胸が熱くなってきました。担任の先生は三村喜代志先生で野球部の監督をなさっていたからかクラスにも顔をまっ黒に日焼けした本田君と斉藤君がいました。青雲寮(今もあるのでしょうか)での野球部の合宿に一年Eの女子がカレーを作ったのも懐かしい想い出です。

三村先生のお人柄もありクラスの仲間はみんなフランクで仲が良かったので今でもずっと友人として親しくさせていただき、私にはかけがえのない大切な宝ものとなっています。

一年Eでの想い出は、沢山あるのですが秀逸のそれは、夏休みの大瀬崎での

キャンプです。

数か月前、このことが急に懐かしくなり、大瀬崎と一緒に行った友人に電話をかけて、「落っちゃん、大瀬崎のバンガローは、だれが手配してくれたの？ キャンプの夕食にカレーを作ったのは覚えているんだけど、だれが材料など調達してくれたの？」と聞きました。

私はすっかり忘れていましたが、友人は覚えていて、「節ちゃんが中学時代の先生に引率をお願いして許可をもらったから、すべて節ちゃんが用意してくれたんじゃないの。」

なにしろ六十年近い前の出来事なので忘れてしまいました。お世話になった先生と節ちゃんに今さらながらこの場をお借りして、御礼をお伝えしたいと思います。

私たち六人ですが、落っちゃんごと、落合まさ江さん、節ちゃんは、小島節子さん、酒井初江さん、福島敏子

さん、渡辺英子さんと私でした。なぜ

か大瀬崎で男子数人と一緒にになりました。男子は無届けで大瀬崎へ行ったことがバテて大目玉を頂戴したことは、今でも語り草になっています。その真相を知るべく当事者の林君に話を伺いました。「三村先生には、海に行くことは話してあつて、届出を提出すれば行かせてくれることになっていた。でも機を逸してしまい、出さずに行ってしまった。」でもなぜ発覚してしまっただのか。

林君によると、大瀬崎から沼津港まで帰る船の中で、小学校の担任の女の先生を見つけ挨拶したら、その横になんと一番会つてはいけない富士高の風紀係の内田先生がいらしたという、「万事休す」とはこのことです。

その林君とは林哲司君のことで、多くの素晴らしい曲を世に送り出しているヒットメーカーで今も第一線で活躍なさっています。

彼のコンサート（ライブ）には、友

人たちと今でも足を運んで若さと元氣をもらっています。その林君のことを三H担任だった藤井先生にお便りする
と「僕も行きかけた。」とあり、ずっと心に残っています。林君とは三年の
時にも同じクラスになりました。先生はその数年後に、お亡くなりになりました。ご一緒できればよかったです。ご一緒できればよかったですと残念
でなりません。

先日、NHKの「あさイチ」で林君が以前に作曲した、「真夜中のドア」が東南アジアを席巻していると取り上げられていました。今年には林君がデビュー五十周年だそうで益々のご活躍をお祈りしています。

随想

木曜会と富友会

北村 修

(高三十回)

高校30回卒の学年幹事を担当していますが、今回会報の寄稿を依頼され同級生たちに連絡して締切までに投稿してもらうには時間もなく、自ら投稿を行うことにしました。そこで60歳の時に担当した富友会総会の幹事の時のことを思い返して報告させていただきます。

令和元年度の第97回富友会総会の担当年次として開催の際には、当初メインの催し物をどうしよう？どの様に人を集めよう？とか全く自分では計画が立てられず、悩んでしまいました。そこで、指導や意見をいただくべく、すぐ連絡がつく仲間を考えた時に、ゴルフ仲間の会の「木曜会」を思いつきました。この「木曜会」のメンバーを中

心に富友会総会の開催並びに懇親会やイベントの開催への協力並びに仲間集めに尽力してもらいました。

「木曜会」とは同級生中心に、既に何十年か実施しているゴルフ仲間の集まりで、近隣のゴルフ場を予約して毎回数組集まりゴルフコンペを行い、終了後には懇親会も実施しています。当初開業歯科医や飲食店経営の同級生の休日である木曜日に合わせて実施していたため「木曜会」の名前が付けられました。最近ではメンバーの多忙さもあり、開催は木曜日だけではなく日曜日などメンバーが集まれる日に実施していますが、定期的ではないにしても年に3回程度開催しています。

学年幹事も大変ですが、木曜会のゴルフの幹事も大変だと思えます。参加可能なメンバー集めから組み合わせや終了後の懇親会・表彰式・賞品選択など忙しそうです。そのコンペ幹事から良く参加しているメンバー中心に相談

にのつてもらい、皆に集まってもらい富友会総会並びに催し物について検討を行いました。催し物として同級生の現副会長の娘さん(富士高卒)にソプラノ歌手の方がいらつしやるということで、記念コンサートの開催と懇親会での仲間のバンド演奏やビンゴ大会の開催が決定しました。何回か検討会を開き、ビンゴの賞品提供などにも協力いただき、コロナ禍になる直前の総会を無事に開催することにこぎつけました。総会及びコンサートも盛会の内に開催でき、懇親会にも500人に迫る富友会の同窓生の皆様が集っていた大きな大役を無事に満了できました。逆に言うと会場も狭く、料理も十分ではなく、行き届かない部分も多々あったかと思えますが、同級生たちには総会・懇親会終了後に同級会も開催することができ、卒業以来の再会も多く見受けられました。その年以降、コロナ禍が遷延し富友会総会が十分に行えない状

況になり、富友会本部の方々や担当となる後輩たちは大変だったと思います。

今は、富友会の副会長・副幹事長・会計監事に同級生3人が入閣参加してくれています。私自身の職場が地元から沼津に変わったため、最近では富友会常任幹事会にも参加できないことも多いのですが、3人がいてくれるので、殆ど幹事会の仕事を任せてしまっています。持つべきものは友人・同級生だと心底思っています。皆様も同級生や同窓生の先輩後輩も頼りにして連絡を取り、今後の富友会も順調に進めていっていただければと考えます。今後とも富友会をよろしく願います。



随想

己の限界への挑戦

―極真空手初段への道―

大内 仁 守

(高三十七回)

大学を卒業し開業して数年が経ち、40才を超えた頃、近くの極真空手道場の門を叩いた。もともと、武道、格闘技が好きで、学生の頃は総合格闘技のジムに通っていたのであまり敷居は高く感じなかった。しかしながら史上最強の男になりたいだとか、世界王者を目指すなどというような気概は微塵もなく、ただ老化防止と健康増進が目的であった。仕事に穴を空けないよう、週に1日、休診日に通うことにし、細くとも長く続けようと思った。ただ、極真空手といえば武闘空手として知られているので、怪我だけはしないように心がけることにした。共に汗を流す同門の方達は、学生、会社員から企業

経営者、警察官、大学教授、吉本の芸人まで様々である。そういった先輩、後輩達と切磋琢磨しながら昇級を目指すところに稽古の醍醐味がある。小生は亀の歩みで色帯最上級の1級茶帯になるまで10年を要した。しかしここから初段までが一番険しく、多くの1級の門下生が、次は自分が黒帯審査に推挙される番かと、手ぐすね引いて待っている。だが、実際に受審できるのは年に1人か2人である。実は小生は黒帯にはなれないだろうと思っていた。その理由は大学時代に空手部の友人から、「空手の流派はたくさんあるが、一番厳しい流派が極真だ。他流派は3年程度で昇段できるが、極真は10年以上かかる。黒帯になれるのは、ほんの一握りだ。昇段するためには、まず自分の身長分の垂直飛びと立ち幅跳びができ、ベンチプレスで自分の体重の重さを自分の年齢の回数分挙げられるようにならないといけない。体力面だ

けでなく、素行や品性も問われる。休みの日には早起きして町のゴミ拾い、近所の公園のトイレ掃除を行い、バスや電車では座らずに、席を譲らなければならぬ。」など黒帯になるための条件を切々と聞かされていたためである。もちろん現実にはそのような決まりはなかったのだが、鵜呑みにしていた小生は初段になるのはとても無理だと思った。不甲斐ない話だが、黒帯を目指すというよりは空手の技術を体得できればいい、せめて帯に色がつけば本望だと思っていた。そんな中、一昨年の秋によく、受審者名簿に小生の名前が載った。14年が経っていた。

試験会場には、小生と同じく審査を受ける同門の他、道場関係者、見学の方々など含め約200名ほどが集結していた。筆記試験から始まり、基本稽古、移動稽古審査へと続く。型審査では約70におよぶと言われる基本型の中から、その場で4つの型を言い渡され、

規定の所作を行う。集中力と正確性が求められ、間違いないか、一つ一つの動作にキレがあるかを審査される。小生は自分で分かっているだけで2箇所ミスをし、次の組手審査の先行きを暗示する結果となった。型審査が終わるといよいよ組手だ。昇段審査のハイライトである。勝敗を決することより、技能、体力共に初段を名乗るに足る水準に達しているかを重視される。極真は直接打撃制なので、一撃必殺のノックアウトを狙って、本気で攻めてくる。アラ還の小生にとっては恐怖でしかない。初戦の相手は身長180cmを超える巨漢で二段の実力者であった。近づけば膝蹴りが、離れば回し蹴りが飛んでくる。身長差があるためこちらの突きや蹴りは簡単には届かない。その上、身体が鋼のようである。一歩踏み込んで、まな板みたいな腹筋にくら中段を叩き込んでもビクともしない。思い切って飛び膝蹴りを見舞おう

ント二才猪木の本を思い出した。「とてつもなく強い敵と戦う時、なにこそ、やるだけやってやれと開き直ることができるのは、私の精神力の逞しさだと思っている。」という一節である。こうなったら猪木のいう通り、死ぬか生きるか、やるだけやってやれと思つた。試合のほんの数分が何時間にも感じた。稽古で培つた自分のいつもの技が出せないまま、終了時間になつた。昇段審査は連続組手で行われる。休む間も無く次の鬪いが始まる。次戦の相手はこれまた、私より背が大きく、ふた回りほど若い選手だつた。こちらはへトへトなのに、相手は体力も気力も充分だ。猪みたいの前に突進してくる。捌(さば)いても躲(かわ)してもお構いなく、前に出てきては突き、蹴りの速射砲を浴びせてくる。若いからスタミナが無尽蔵である。防御しているこちらの腕や脛の上から拳や足刀が矢のように飛んでくる。さらに困つたこ

とに、身体が異常に硬い。正拳突きを打つても中段蹴りを蹴つてもダメージを受けるのはこちらの手や足だ。ならば負けるまいと右の下端を鉄柱のように硬い相手の左足に蹴り込んだ。その瞬間、弁慶の泣き所のあたりでピシッと今まで聞いたことがない音がした。激痛が走つた。膝から下の感覚がなくなつた。明日の朝の犬の散歩はどうしよう?こんな時だというのに、一瞬そんなことが頭に浮かんだ。蹴りがだせなくなり、回り込んで脇腹や肋骨を突きで狙うことにした。往(い)なしでは左の中段、捌いては右の上段で対抗した。満身創痍になりながら、無我夢中のうちに二人目が終わった。勝つずとも負けはしていなかつたと思う。ほっとする間もなく3戦目が始まつた。最後の相手は、前回の大会の無差別級のチャンピオンだ。背はそれほどでもないが、若い上に動きが俊敏で、縦横無尽に攻めてくる。右にいると思

えば左、前にいると思えば後ろだ。上から下から、いつ何が飛んでくるかわからない。こちらの攻撃は全てカットされる。技を出した隙をついてカウナーを入れられる。渾身の力を込めた右の鉤突き(かぎつき)も空を切る。左の回し蹴りも躲される。心技体どれをとつてもこちらが勝る要素がない。初戦で、頭、次戦で足を痛めた。左右の中段突きからの右の下端蹴りが小生の得意なコンビネーションだが、それができない。持てる技の何も通用しない。なす術がない。足が痛くて立っているのもやつとだ。スタミナが切れてきた。呼吸も追いつかない。視界が白くなつてきた。もうダメだ。ここで終わりでもいい。黒帯なんてどうでもいい。所詮は無理な挑戦だつたのだ。俺はもう十分頑張つた。ここでやめても誰にも咎められないだろう。なんで空手なぞ始めてしまったんだろう。危ない世界に首を突っ込んでしまった。自分で

自分が憎らしくなった。中段への後ろ
回し蹴りをもらい、倒れそうになった
瞬間、薄れゆく意識の中で声が聞こえ
た。自分の声だ。ここで投げ出したら
あの時言ったことが嘘になる。高校時
代、応援練習で下級生に言ったことが、
全て嘘になる。克己心身を練れ！とか
勤勉実力を養え！とか至誠事に当た
れ！とか、それができずして富士高生
を名乗るな！とか。自分はできないく
せに口先だけでいい加減で無責任な、
中身のない言葉を新入生に言っていた
ことになる。それは困る。なんとかか、
なんとか踏ん張るのだ。いまこそ克己
心身の練り時だ！実力の出しどころ
だ！至誠事に当たる局面だ！立て！立
つんだ、俺！ 朦朧とした感覚の向こ
うで試合終了の笛が鳴った。どうにか
最後まで立っていられた。這々の体だ。
頭も体も空っぽになっていたが、得も
いわれぬ開放感と達成感が全身を包ん
だ。

昇段認定証は1ヶ月ほどして授与さ
れた。大きな賞状である。ずしりと重
い。こんな立派な賞状は生まれて初め
てもらった。きちんと額に入れて院長
室に飾ることにしよう。

黒帯を締めた今、強くなったという
実感はない。ただ、やり通したという
充実感と、小生の様な不才の人間でも
やればできるという確信が生まれた。

今後は、年齢や体力を顧みずさらな
る高みをめざして、心身を錬磨し確固
不拔の心技を極め、富士高卒業生の名
を汚さぬ様、尚志研学真理を索ねてい
きたいと思う。



随想

三好先生のこと

後藤 哲 男

(高四十回)

三好文明先生。私の2年の担任の先
生。現代文の先生。2年と3年の現代
文を担当された。寡黙で無表情な印象。
雑談を交わした記憶はほとんどない。
でも永井荷風の研究をされていたため
か、近代の作品になるとやや饒舌に
なった。「太宰は……」と持論を話したり、
「ロマン(近代文学的な浪漫と解釈さ
れた?)という言葉が軽々しく使うヤ
ツは大嫌いだ」とか、「俺は実は人間
が嫌いなんだ」と仰ったこともあっ
た。当時、先生は結婚もされており、
お嬢さんもうらっしゃると聞いていた
ので、(何言ってるの?)と思っていた。
だって人間嫌いが教師をやっているの
ですから。

話は変わり、私は小さいころ「医者

まさに人生の折り返し地点である。縁があつて50回卒として寄稿をすることになり、高校時代を振り返つてみているのだが、つくづく何の取柄もない学生であつた。成績は可もなく不可もなく。部活もバスケット部に所属していたがベンチで鳴かず飛ばず。付け加えれば、もう時効ということで白白をすると授業をサボつて部室で漫画を読んでいたこともあつた。取柄がないどころかかなり不真面目な学生である。

卒業後は国内の大学へは進学せずに米国オレゴン州のコミュニティーカレッジ（短大と職業訓練校が混ざつたような学校）へ留学した。卒業して州立大学へ編入し、そのまま同校の大学院へ進学。専攻は一貫してコンピュータサイエンス（情報科学）であつた。

大学院へ進学して1年が経つたころ、父が悪性リンパ腫で他界したため急遽帰国し、実家の町工場を継ぐことになつた。あれから20年。現在も富士

高から直線距離1kmの場所で小さな町工場を営んでいる。高校時代は胸を張れるような学生ではなく、卒業後も遙か海の向こうにいた私が、今は富士高から目と鼻の先で事業を営んでいるというのは何とも不思議な縁である。

ところで町工場といつてもいろいろな種類があるのだが、弊社は製缶板金業といつて、主に鉄やステンレスの板を切つたり曲げたり溶接したりして、工場のタンクやパイプ等の設備を作っている。製紙で栄えた富士市ならではの業種だ。とは言え、統計資料「富士市の工業（令和4年度）」によればパルプ・紙の令和元年度の製造品出荷額等は平成20年度と比較して8.6%減少しており、当然設備需要が減るので製缶板金市場も縮小していくことは間違いない。

そこで弊社では近年最新の3Dスキャナーを導入し、新たに3Dデータ事業に取り組み始めた。「設備が老朽

化してしまつたが、全て新品にするには予算が足りないので本当に必要な部分だけを作り替えたい」という需要を取り込もうという試みである。実物を丸ごとスキャンして3Dデータ化することで、従来のように人力で計測・図面化するよりコストを抑えられるのが利点である。

3Dデータ事業は、祖父が創業した製缶板金業と、私が学生時代に学んだコンピュータサイエンスを融合したような事業である。帰国してからちょうど20年の節目となる今、ようやく自身のバックグラウンドを最大限に生かして社会の役に立てる事業のスタート地点に立つた。ふと気が付くと、あと数年もすれば他界した時の父の年齢を超えてしまう。残りの人生、多少なりとも地元経済に貢献し、少しは胸を張つて富士高の卒業生であると言えるような人物になりたいと考えている。

随想

「勇魂の風」

佐野昌平

(高五十五回)

私は富士高3年間、応援団に所属していました。そのため、応援団の仲間とともに野球部の勝利を願ひ厳しい練習に励んでいたことが思い出されま
す。特に毎年、夏の甲子園の時期になると茹だるような暑さのなか夢中になって応援していたスタンドの光景が頭によぎります。炎天下のなか富士高の名を背負ひ勇敢にプレーする野球部の選手、ハチマキをなびかせて気合の入った演舞をする応援団の仲間、メガホンが壊れるほど強く叩きながら熱狂して応援する生徒、OB・OGも駆けつけ迫力ある演奏で盛り上げてくれた吹奏楽部の生徒の姿が今でも目に焼き付いています。

そのなかで強烈な印象として残るの

は、得点したときにスタンドにいる生徒全員が肩を組み歌う「勇魂の風」です。何事にも出し惜しみせず、全力で楽しもうとする姿勢に富士高生であることの誇りを強く感じたことを覚えています。また、歓喜のなか全力で歌う「勇魂の風」は学校全体がひとつになる瞬間を全身で感じさせてくれました。そして、この感動の「勇魂の風」はこれまで人生の大きな壁にぶつかる度に困難な状況でも楽しさを見つけて、誠意を持って向き合うことの大切さを思い出させてくれます。今でも私の支えです。

そんな充実した富士高生活のなかで将来の目標となった高校教員となり15年が経ちました。日々、授業や部活と忙しく過ごしていますが、生徒との関わりをなかで教員であることの幸せを噛み締めています。そんな15年間の教員生活のなか変わらず生徒に願うことは高校生活を存分に楽しんでほしいと

いうことです。それはきつと私自身が富士高時代に人生で最も輝く貴重な時間を与えてもらったからだと思います。目の前の生徒たちにもそんな人生の糧になる素晴らしい時間を高校で過ごしてもらいたいと心から願っています。これからも微力ながら、その願いの実現のため教育の道を歩んでいきたいと考えています。

「我等しづき上げ　ただ　突き進む
青雲の志　我が闘志：勇魂の風」とともに。





今日の喜び語り合い

部活動の記録

鈴木 嵩真 3年 800m	
前島 優 3年 5000mW	
川口 陽生 3年 走高跳	
篠根 大輔 3年 走高跳	
高木 帆花 3年 800m	
山崎瑛里奈 3年 100mH	
遠藤 実澄 3年 円盤投	
吉川 元基 2年 やり投げ	
4×100mR	
男子(佐野・山本・中村・芦澤)	
4×400mR	
男子(芦澤・鈴木・佐野・高山)	
女子(山崎・高木・中田・若林)	
新人戦 県大会出場	
吉川 元基 2年 やり投げ	
若林 七海 2年 400m	
磯部 光花 2年 3000m	
沖田 真優 1年 1500m	
	3000m
中田 真実 1年 800m	
【男子ハンドボール部】	
静岡県高校総体	ベスト8
静岡県高等学校ハンドボール選手権	ベスト16
【女子ハンドボール部】	
県高校総体東部予選	優勝
	運動部
	【野球部】
春季静岡県大会	出場
夏季大会	3回戦
秋季大会 東部大会	2回戦
富士市スポーツ祭	優勝
	【サッカー部】
インターハイ東部総体	
決勝トーナメント	1回戦敗退
東部ユースリーグBリーグ	11位
選手権1次トーナメント	1回戦敗退
	【陸上競技部】
インターハイ 全国大会出場	
高山 裕多 3年 800m	
丸山 裕久 3年 3000mSC	
インターハイ 東海大会出場	
高山 裕多 3年 800m	2位
丸山 裕久 3年 3000mSC	3位
インターハイ 県大会出場	
高山 裕多 3年 800m	1位
	400m
丸山 裕久 3年 3000mSC	3位
	5000m
芦澤 海音 3年 400m	

令和4年度富士宮市連盟会長杯バレーボール大会
 予選リーグ 富士0-1 向上
 富士0-1 浜松東
 富士0-1 静岡大成
 富士0-1 富士宮東
 順位決定戦 富士2-0 富士東
 富士1-1 富士宮西

令和4年度第50回静岡県東部高等学校秋季
 バレーボール選手権大会
 富士0-2 飛龍

【柔道部】

個人
 静岡県東部高等学校総合体育大会
 男子81kg級 矢崎 敦朗 (15HR) 5位
 静岡県東部高等学校柔道選手権大会
 男子60kg級 寺岡 展 (25HR) 5位
 鈴木 脩友 (17HR) 5位
 男子81kg級 矢崎 敦朗 5位

静岡県高等学校新人柔道大会
 男子60kg級 寺岡 展 8位

団体
 静岡県東部柔道祭 6位

【剣道部】

インターハイ
 男子団体 12位
 女子団体 3位
 男子個人 渡邊 隼也 10位
 加藤 匠 16位
 女子個人 山賀 優心 優勝
 望月 和 16位

富士宮市民大会
 高校男子個人 渡邊 伊吹 優勝
 市川清士郎 準優勝
 佐野 円 3位

東部選手権
 男子団体 12位

富士市民大会
 男子団体 準優勝

新人戦
 男子個人 渡邊 伊吹 10位
 団体 5位
 女子団体 9位

【卓球部】

県高校総体東部予選
 男子団体 8位
 女子団体 3位

県高校総体 3位
 東海高校総体 出場
 県高校選手権大会 2位
 県高校新人大会東部予選 優勝

【男子ソフトテニス部】

第70回高校総体
 団体 東部4位 県ベスト8
 個人 志岐・後藤ペア 東部ベスト8
 県ベスト16 東海大会出場
 朝倉・浦部ペア 東部ベスト24
 県大会出場

新人戦
 団体 東部6位 県ベスト16
 個人 朝倉・浦部ペア 東部ベスト16
 県大会出場
 長坂・渡邊ペア 東部ベスト24
 県大会出場

【女子ソフトテニス部】

団体
 令和4年度静岡県高等学校総合体育大会
 東部17位 県大会出場
 令和4年度静岡県高等学校新人体育大会
 東部15位 県大会出場

個人
 令和4年度静岡県高等学校新人体育大会
 東部ベスト24
 森川・渡邊ペア 県大会出場

【男子バスケットボール部】

インターハイ東部大会 決勝トーナメント進出
 ウィンターカップ 2回戦進出
 新人戦東部大会 決勝トーナメント進出
 東部リーグ戦 Bリーグ 全勝

【女子バスケットボール部】

高校総体 東部地区予選
 予選リーグ 2位通過
 決勝リーグ 出場
 選手権大会 静岡県大会 出場
 新人戦 予選リーグ 2位通過

【バレーボール部】

令和4年度静岡県東部高等学校春季
 バレーボール選手権
 予選リーグ 富士0-2 富士宮西
 富士0-2 菫山
 令和4年度静岡県高等学校総合体育大会
 東部地区予選
 1回戦 富士0-2 菫山

【男子バドミントン部】

高校総体東部予選			
男子ダブルス	朝日・石川ペア	4位	
男子シングルス	朝日 隆仁	13位	
男子団体		6位	
高校総体県予選			
男子ダブルス	朝日・石川ペア	ベスト16	
男子シングルス	朝日 隆仁	ベスト8	
男子団体		ベスト8	
選手権大会東部予選			
男子ダブルス	小川・石川ペア	5位	
静岡県選手権大会			
男子ダブルス	小川・石川ペア	2位	

【女子バドミントン部】

第34回静岡県高校バドミントン選手権大会東部地区大会			
	李 莉奈	優勝	
静岡県高校バドミントン新人大会			
○東部地区予選			
2年シングルス	石川 侑奈	ベスト16	
1年シングルス	伊藤 瑠花	4位	
	李 莉奈	7位	
1年ダブルス	李・伊藤ペア	5位	
○県大会			
1年シングルス	伊藤 瑠花	ベスト8	
1年ダブルス	李・伊藤ペア	ベスト8	
○学校対抗	7位	県大会出場	

文化 部

【吹奏楽部】

第63回静岡県吹奏楽コンクール			
東部地区大会		金賞	
県大会		銅賞	
第24回ジュニア打楽器アンサンブルコンクール全国大会			
打楽器六重奏		優秀賞	
第30回静岡県高等学校吹奏楽祭		優秀賞	

【美術部】

第70回静岡県高等学校美術・工芸展東部展			
入選絵画			
「grow up」	2年	図師 紘希	
「魅窓」	2年	木村 優那	
「人間」	2年	富山 李	
「いつもどおり」	2年	大川 侑希	
「夏休みの思い出」	1年	内藤 健人	

男子シングルス		
飯塚 広人		ベスト16
長澤 実典・岩城 皓大		ベスト32
女子シングルス		
石井 那果		ベスト8
西浦 香穂		ベスト16
高木 愛姫		ベスト24
男子ダブルス		
飯塚 広人・岩城 皓大		ベスト8
長澤 実典・松野 鳳太		ベスト16
大塚 緩・半場 啓悟		
女子ダブルス		
西浦 香穂・石井 那果		ベスト8
井出 陽向・佐野菜々子		ベスト24
	以上	県大会出場

県新人大会東部予選		
男子団体		3位
女子団体		5位

【男子山岳部】

県高校総体	2位
東海大会	優勝

【女子山岳部】

県高校総体	優勝
第66回全国高等学校登山大会	
女子団体	5位

【水泳部】

静岡県東部地区高等学校選手権水泳競技大会		
100mバタフライ	羽二生 絆	5位
	高野瀬奏人	8位
100m背泳ぎ	井出 大河	7位
100m自由形	夏目 悠貴	4位
50m自由形	夏目 悠貴	4位
男子400mフリーリレー		
	夏目・高野瀬・羽二生・井出	4位
男子400mメドレーリレー		
	羽二生・望月・高野瀬・夏目	5位
男子800mフリーリレー		
	植松・野添・羽二生・高野瀬	7位
女子400mフリーリレー		
	皆川・菅沼・吉村・落合	8位
女子400mメドレーリレー		
	吉村・皆川・落合・菅沼	9位
静岡県高等学校総合体育大会水泳競技		
50m自由形	夏目 悠貴	5位
東海高等学校総合体育大会水泳競技		
50m自由形	夏目 悠貴	出場

第22回全国競技かるた愛知大会

B級 優勝 石井 元太

【写真部】

第40回静岡県高等学校写真コンクール

奨励賞 23HR 古屋 春賀

〈全国総文祭出場〉

入選 23HR 市川 未来

22HR 前澤 愛香

16HR 村下 陽菜

令和4年度静岡県東部高等学校写真連盟

第1回コンクール

特選 32HR 塩谷 和美

入選 24HR 傳馬 心彩

33HR 前原 優大

【書道部】

第67回新春書作展

静岡県高等学校書道教育研究会理事長賞

優秀賞

栗田 晶子

有岡 茉那

鈴木 里彩

奨励賞

大森 英奈

川口 姫

久能 陽菜

佐野 沙那

澤田 綺羅

末永 紗花

根岸 愛子

宮川 晴海

望月みのり

吉村 有智

海野 仁美

行徳 りの

佐野 小春

多々良和奏

中川 美優

西田 明莉

渡辺 華

渡邊 萌花

第74回書きぞめ展富士地区展

静岡県知事賞

有岡 茉那

静岡県書連会長賞

宮川 晴海

静岡県書連理事長賞

栗田 晶子

富士市長賞

川口 姫

富士市議会議長賞

澤田 綺羅

富士市教育長賞

吉村 有智

行徳 りの

「Rock on Me」 1年 加々見優子

入選デザイン

「記憶返り」 2年 大津 歩果

令和4年度全国高等学校総合文化祭出品

「範囲外を動く動点P」 3年 伊東璃々子

【百人一首部】

第79回全国競技かるた桑名大会

D級 優勝 黒野 真花、菊池 咲来

渡邊 晃司

準優勝 石井 元太

3位 勝亦 悠斗

第10回全国競技かるた大垣大会

B級 3位 佐野 光姫、村越 祐衣

C級 3位 黒野 真花

D級 準優勝 佐藤 優衣

3位 佐野 心菜、佐野 由奈

第44回全国高等学校選手権大会

静岡県予選 準優勝

同全国大会団体戦の部 ベスト16

個人戦の部

D級 3位 保竹 藍衣

E級 3位 後藤 清那

第46回全国高等学校総合文化祭東京大会

佐野心菜、黒野真花が県代表として出場

競技の部 準優勝 静岡県選抜チーム

第29回全国競技かるた多摩大会

E級 準優勝 勝澤 虹

3位 奥村 友美、児玉恵利華

第107回全国職域学生かるた大会

D級 準優勝 富士高校Bチーム

第79回全国競技かるた桑名大会

C級 準優勝 菊池 咲来

3位 渡邊 晃司、保竹 藍衣

勝亦 悠斗

第1回全国競技かるた山梨大会

B級 3位 菊池 咲来

第3回全国競技かるた初段認定静岡大会

E級 優勝 遠藤 駿太、橋之口翔大

準優勝 仙頭 佑斗、石島 彩夏

林 桃花、坂本 風香

秋月 緑、小林 華子

森 和輝、吉澤真太郎

荻野 美希、金子 千暖

前島かおる子、坂本 陽菜

第8回静岡県小倉百人一首かるた初心者大会

C級 優勝 石井 元太

静岡市日中友好協会賞 有岡 茉那
 栗田 晶子
 焼津市文化連盟賞 多々良和奏
 根岸 愛子
 海野 仁美
 焼津市書道協会賞 望月みのり
 川口 姫
 佐野 沙那

第23回高校生国際美術展書の部
 佳 作

大森 英奈
 川口 姫
 佐野 沙那
 澤田 綺羅
 未永 紗花
 望月みのり
 有岡 茉那
 佐野 小春
 鈴木 里彩
 中川 美優
 渡邊ののほ

令和4年度静岡県高等学校文化祭書道部門
 個人の部
 静岡県高等学校文化連盟書道専門部会長賞
 (令和5年度全国高文祭出品) 行徳 りの
 地区選抜の部
 特別賞 鈴木 里彩

【新聞部】

県高文連主催静岡県高校新聞コンクール 優秀賞
 全国年間紙面審査 優良賞
 全国高等学校総合文化祭東京大会出場

【茶道部】

茶道裏千家許状(入門、小習十六ヶ条、茶箱点)取得
 鈴木 優奈
 中村 唯乃
 三澤 瑠鈴
 佐野利貴斗
 鳥居 馨子

富士市文化会館賞 未永 紗花
 佐野 沙那
 大森 英奈
 富士ニュース社賞 根岸 愛子
 岳南朝日新聞社賞 海野 仁美
 多々良和奏
 静岡県書道教授会賞 鈴木 里彩
 西田 明莉
 渡邊 萌花
 佐野 小春
 中川 美優
 望月みのり
 静岡県書道連盟賞 渡辺 華
 久能 陽菜

第40回全国橘花書道展
 条幅の部

大賞 静岡県知事賞 行徳 りの
 静岡県文化協会会長賞 佐野 沙那
 静岡県書道連盟会長賞 望月みのり
 焼津市議会議長賞 栗田 晶子

準大賞 静岡県書道連盟理事長賞 中川 美優
 澤田 綺羅
 静岡県書道教授会会長賞 未永 紗花
 吉村 有智
 根木 愛子

静岡県書道協会会長賞 川口 姫
 特別賞 静岡県文化協会賞 大森 英奈
 静岡県書道連盟賞 鈴木 里彩
 渡邊 萌花

静岡県書道教授会賞 西田 明莉
 静岡市日中友好協会賞 有岡 茉那
 静岡県書道協会賞 渡辺 華
 焼津市文化連盟賞 海野 仁美
 焼津市書道協会賞 久能 陽菜

宮川 晴海
 佐野 小春
 多々良和奏
 橘花賞
 協賛会賞

半紙の部

大賞 記念大賞 大森 英奈
 静岡県書道連盟会長賞 宮川 晴海
 準大賞 焼津市文化連盟会長賞 久能 陽菜
 特別賞 静岡県文化協会賞 鈴木 里彩
 静岡県書道連盟賞 澤田 綺羅

行徳 りの
 静岡県書道教授会賞 吉村 有智
 静岡新聞社賞 未永 紗花

コロナ禍の不自由さのなかで、立派に100周年を飾った 75回卒業生たちの今春の進路を振り返る。

一言でいうと、とてもよく頑張った3年生たちだった。振り返ると、「型づくり」から始めようと最初の学年集会で話した直後に休校となった3年前。「これから始まる高校生活はどうなるのだろう」と教員も生徒も不安のスタートとなった。それから3年間、学校行事も部活動も自粛・制限され、途方に暮れる日々を過ごすことになった。それでも、いや、それだからこそ、学校再開後の学校生活の一日一日を、大切に過ごそうとした生徒たちの姿があった。今春の卒業生たちの進路結果がまとまった。それを総括してみる。…

国公立大学進学者が174名（前年206名㊥8クラス）、私立大学合格は、766名（前年1,110名㊥8クラス）であった。前年度の卒業生が、8クラス、我々の学年は7クラスであり、1クラス分40名減なため、一概に比較は難しい。ただ、この卒業生は受験直前まで志が高く、それが最後まで生徒たちの「向学心・向上心」の維持につながったのではないかと思う。東京大学の推薦合格に2名が挑み、高校生活の継続した研究・活動が評価され、両名とも一次試験を突破したことは評価に値する。もちろん、「合格しなければ意味はない」という人間もいるだろう。しかし、難関大学に挑み、その過程で大きく成長する両名の姿を、自分は目の当たりにし、このかけがえのない経験が両名の今後に大きなプラスとなったことを確信した。同様に、東京大学の理Ⅲに挑んだ生徒、また難関といわれる旧帝大に挑んだ生徒、その可否はともかく、高校生の総決算に、不安と闘いながら、自分の可能性に挑戦した生徒の、精神的成長はとてつもなく大きく、将来における財産となつたに違いない。受験とは、「挑戦することで、幼い高校生を大人に変える。」大切な「通過儀礼」ではなからうか。

今回の入試で、顕著だったのは、私立大学の受験が大幅に減ったことが挙げられる。前年度卒業生が総受験者数が1,998校（合格1,117校）だったのに対して、1,562校（合格769名）であった。1クラス40名減にしては、極端に受験人数が減っている。これは、コロナ禍による不景気が影響したためか、少子化のために、私立大学が入りやすくなったためか、または様々な制約のおかげで生徒に対する進路指導が不足したために的確な大学選びがなされなかったためなのか、今後の分析を要する。私立大学への実際の進学者数は、前年が114名に対して、今年度は86名であった。（あくまでも1クラス減の結果であるが、それ以前のデータをもと、本校では、やや私学離れ傾向にある。）

それとは矛盾している現象かもしれないが、5-7形成率（5教科7科目受験のこと）がやや低下したことは反省点でもある。やはり富士高校としては、受験のために高校生活があるのではなく、充実した高校生活の結果として難関大といわれる受験への成功があるべきである。だからこそ、受験のために受験教科・科目を絞るのではなく、バランスの良い学習を継続し、学力・知力・判断力にすぐれた、高校生としてスケールの大きな人間に育ってほしいのである。その大きな基準として、5-7形成率にもこだわって指導していきたいものである。

いずれにしても、富士高生は将来、政治・文化・経済、そして、地域・教育界において、我が国のリーダーになってほしい人材が集まってくることは間違いない。その我々が、地域や国の将来を左右する大切な若者を育成していることの責任の大きさを改めて感じた3年間であった。

2022年度 第3学年部主任 野村 保

合格者数一覧

大学種別コード	現 役		既 卒 者		現・既 計		計	
	本年度	(昨年度)	本年度	(昨年度)	本年度	(昨年度)	本年度	(昨年度)
国 立 大 学	146	(153)	10	(8)	156	(161)	185	(215)
公 立 大 学	28	(53)	1	(1)	29	(54)		
私 立 大 学	769	(1,110)	28	(30)	797	(1,140)	0	(5)
国公立短期大学	0	(3)	0	(0)	0	(3)		
私立短期大学	0	(2)	0	(0)	0	(2)		
文科省所管外大学	4	(4)	0	(0)	4	(4)	4	(4)
各種学校・専修学校	3	(4)	0	(0)	3	(4)	3	(4)
総 計	950	(1,329)	39	(39)	989	(1,368)	989	(1,368)

入試年度 現・既別	R5年度		R4年度		R3年度		入試年度 現・既別	R5年度		R4年度		R3年度		入試年度 現・既別	R5年度		R4年度		R3年度													
	現	既	現	既	現	既		現	既	現	既	現	既		現	既	現	既	現	既												
成城大	7		12		9		桐蔭横濱大			1				関西学院大	10		6	1	10													
聖路加国際大	28						東京工芸大	2				3		甲南女子大			1															
専修大	1		55		23		フェリス女大			2				神戸芸術工科大					2													
創価大	1		1				横浜薬大	2		3		2		神戸女子大			3		2													
大東文化大	2		3				ビューティ職大	1		1		1		神戸松蔭女子大					1													
拓殖大	2		3		5		金沢工大	2		3		3		武庫川女子大	2		1															
玉川大	8	1	2		1		帝京科学大	1				1		奈良大			1		3													
多摩大	22	5	36	3	29		山梨学院大	1						岡山理大	2																	
中央大	1		6		3		健康科学大			1				吉備国際大			2															
津田塾大	5		6		3		岐阜女子大			1				広島工大				1	2													
帝京大	10		4		3		岐阜聖徳学園大			5				広島国際大	1																	
東海大	1		27		31		静岡産業大			2				松山大			1															
東京家政大	2		2		1		静岡理工科大	3		3		6		〔私立大学合計〕	769	39	1,109	31	952	31												
東京経大	3		1		2		聖隷クリスト大			3		7		〔短大・準大・専修〕																		
東京工大	5		5		9		常葉大	84		144		152	1	防衛医科大学校	2		1		1													
東京慈恵会医大					1		静岡英和学院大			1		1		国立看護大学校	1				1													
東京女子大	8		6		10		静岡福祉大			1		1		職業能開大学校					2													
東京女子医大					1		愛知大			2		2		防衛大学校	1		3		1													
東京造形大		1	1		1		愛知学院大			2		2		川崎市立看護短			1		1													
東京電機大	5		6	1	9		愛知工業大	2		1		1		静岡県大短大部			3		1													
東京農大	9	1	25		16		愛知淑徳大			2		2		三重短					1													
東京薬大	2		2		6		愛知みずほ大			1		1		帝京短			1															
東京理大	23	5	21	4	23	5	金城学院大			2		1		東京歯短					1													
東邦大	2		2		10		相山女学園大	1						目白大短大部					1													
東洋大	31		50		28		中京大			8		15		神奈川歯短大部					1													
日本大	14		28	3	16	1	中部大	2	1	5		3		鶴見大短大部					1													
日本歯大					2		東海学園大					2		常葉大短大部					1													
日本社会事業大	1				1		豊田工大	2				1		静岡医科専門			1															
日本獣生命科学大					1		名古屋外大	5		1		1		静岡デザイン専門																		
日赤看護大	1				10		名古屋学院大			1		1		東京ビジュアル	1																	
日本体育大					2		名古屋女子大			1		1		京都芸術デザイン					1													
法政大	37		59	1	26		南山大	2		8		1		清水海上技術短	1																	
星薬大	1	1	2		2	1	日本福祉大			1		1		東京動物専門					1													
武蔵大					2		藤田医大			1		6		〔短大等合計〕	7	0	10	0	14	0												
東京都大	9		6		10		名城大	6	1	18		11																				
武蔵野大					1		豊橋創造大					1																				
武蔵野大	3	1	8		9	1	人間環境大					1																				
明治大	32	1	53	2	27		名古屋学芸大																									
明治学院大	6		16		10		皇学館大	1				1																				
明治薬大	1	1	4		2	1	京都外大			1		2																				
明星大					3		京都先端科学大					1																				
立教大	15		14	2	11		京都産業大	2				1																				
立正大					2		京都女子大	2		13		5																				
早稲田大	10	3	14		12	4	京都精華大			1		1																				
学習院女子大	1		1		1		京都橘大	2	1	4																						
麻布大	2						京都薬大			1																						
神奈川大	28		17		17		同志社大	14	5	18		15	2																			
神奈川工科大	3		1		7		同志社女子大			4		7																				
鎌倉女子大	1		1		2		佛教大	1				1																				
関東学院大	2		9		6		立命館大	32	5	47	1	20	2																			
産業能率大					1		龍谷大	13		5		6																				
湘南工科大					3		大阪医薬大			2		2																				
昭和音大					1		大阪工大			1	2																					
鶴見大	1						関西外大	7		11	1	7																				
							関西外大					3																				
							近畿大	17		17	2	15																				

大学別合格者数（延数）

学校だより

入試年度 現・既別	R5年度		R4年度		R3年度		大学別	入試年度 現・既別	R5年度		R4年度		R3年度		大学別	入試年度 現・既別	R5年度		R4年度		R3年度			
	現	既	現	既	現	既			現	既	現	既	現	既			現	既	現	既	現	既	現	既
【国立大学】							鳥取大	1							【私立大学】									
帯広畜産大	1		1		1		島根大	3		4		1		酪農学園大	1							1		
北見工大	1						山形大	1		4		1		東北学院大	1									
北海道大	3		4		3	1	山口大	1		1		1		東北福祉大	1							2		
北教大函館校	1						徳島大	1		1		1		東北薬大			1	1				1		
室蘭工大			1				香川大							つくば国際大			1							
弘前大	1						愛媛大	1						足利大								1		
東大	7	1	11	1	7	2	高知大	1	1	2			1	国際医療福祉大			4				3	1		
宮城教育大					1		九州大	1			1			自治医大								1	1	
秋田大	1		2			1	大分大							獨協医大		1		1				1		
山形大	3					1	宮崎大			1				跡見学園女子大			1							
福島大	2		1				【公立大学】							埼玉医大								1		
茨城大	2		2				秋田県立大	1		1		1		埼玉工大			1						1	
筑波大	5		2	1	6	1	山形保健医療大							東京国際大	1									
都立大			1				会津大							文京協大	1		7				6			
宇都宮大	1						福島県立医大		1	1				明海大	10		8				8		5	
埼玉大		1	3				茨城県立医大			1				目白大	1									
千葉大	7		11		10		前橋工科大				1			東大							2		1	
京海洋大	2						群馬県立女子大	1			2			神田外語大	1								6	
お茶の水女子大	1		1		1		高崎経大	1						千葉工大	18		16	1					14	
電気通信大	2		1		4		埼玉県立大			1			1	中央学院大									1	
東京医歯大	1	1	1	3	1		埼玉県立大						1	帝京平成大			1						1	
東京外大	3		1				千葉保健医療大	1						東京情報大									1	
東京学芸大	7		6				東京都立大	2		3			4	秀明大	1									
東京芸芸大					1		神奈川県立大	1						千葉科学大			1							
東京工業大	1		1	2	1		横浜市立大	3		9			5	植草学園大	1						1			
東京農工大	2		2	1			長岡造形大		1					青山学院大	14	1	17						12	
東京橋大			3				富山県立大							亜細亜大	1		2						1	
横浜国立大	7		4		3		石川県立大						2	桜美林大	3		2						3	
上越教育大					1		山梨県立大			1			2	大妻女子大	3		2						4	
新潟大	1		2		3		都留文科大	1						学習院大	9		6						7	
富山大	1		2		3		長野野大	1						北里大	15		20	1					10	
金沢大	4		1		4		長野看護大			1				共立女子大			4						3	
山梨大	9		4	1	10		諏訪東京理大	1		1				杏林大	1		3						5	
信州大	9		7		7		岐阜薬大							国立音大									1	
岐阜大	33		35	1	45	2	静岡文化芸大	1		3			2	慶応大	5		5						4	
静岡大							静岡県立大	12		19	1	13	1	工学院大	10		10							11
浜松医大		1	3		3		名古屋市立大				1			国学院大	11		15						4	
愛知教育大			3		1		京都府立大	2						国士舘大	1									2
名古屋大	10		8		4		大阪府立大						2	駒澤大	15		25						15	
名古屋工大	1		1		1		兵庫県立大							駒沢女子大			2						1	
三重大		1					神戸市外大			1				実践女子大			6						2	
滋賀大	1		1		1		芸術文観光職大			1				芝浦工大	37	2	27	1					43	
京都大	4	3	4		3	1	和歌山県立医大			1			1	順天堂大	11		11	1					22	
京都教育大			1		1		島根県立大					2		智大	7		4						4	
京都芸文大							岡山県立大						1	昭和女大	2		2						2	
大阪大	2		3		4		県立広島大						1	昭和女大	2		5						3	
大阪教育大					1		広島市立大			1				昭和薬大	1		3							
神戸大	1		3		2		<公立大学合計>	28	2	53	1	39	3	女子栄養大			1							
奈良女子大			3				<私立大学合計>							成蹊大	9		12						9	

最近3年間の卒業生の合格状況

1. 合格状況

(1) 国公立大学

国公立大学の一般選抜の志願者数は、42万3,180人と前年から約5,500人減少（前年比99%）、募集人員に対する志願倍率は前年同様の4.3倍、国公立大入試の中心となる前期日程の志願者数は、231,450人（前年比99%）となった。共通テストの受験者数前年比97%と比較すれば、減少率は低く抑えられており、国公立大の人気は堅調といえる。共通テストの平均点の上昇を受け、積極的に国公立大学に出願した受験生が多かった様子が伺われる。また、地域別に志願者数を比較すると、北海道、東北、北陸、四国、九州などで前期日程の志願者が減少した一方で、関東、東海、近畿で増加し、受験生の人気が集まっていた。

2023年度入試における本校の国公立大学現役合格者数は174人（総合選抜・学校推薦型含む）であった。共通テストの平均点が増え、二次試験における記述力を見極めて、慎重に出願を検討しなければならない入試となった。合格した生徒の多くは、最後まで諦めずに直前補習や個別指導をしっかりと受け、真摯に勉強に向かっていった。その結果、後期試験でも旧帝大の北海道大学や東北大学、筑波大、名工大、秋田県立大など22名の生徒が合格を勝ち取った。また英語検定を利用し、合格した生徒も多数いた。

難関国公立大学の結果（ ）内は昨年度人数

東京1名(1) 京都4名(4) 医学部医学科2名(4)
東京工業大学1名(1) 大阪2名(3) 東北7名(11)
名古屋10名(8) 北海道3名(4) 九州1名(2)

(2) 私立大学

昨年度に比べて全体の志願者数が減少した一方で、難関私大を中心に志願者数が増加している大学もあり、受験生の人気の一部の大学に集中する傾向が見られる。入試方式別に見ると、一般方式に比べ、共通テスト利用方式に堅調に志願者が集まった。これには、共通テストの平均点が高得点となったことが影響していると考えられる。また、難関私大を中心に、国公立大学と同じ共通テストの受験科目を受験生に求める動きが見られ、最後まで5教科7科目を学び続けることの重要性を改めて認識するものであった。その中で、本校生徒は共通テスト利用方式を上手く活用し、合格を勝ち取った生徒が多数いた。

難関私立大学結果（ ）内は昨年度人数

早稲田10名(14) 慶應義塾大学5名(5)
上智7名(4) 東京理科大学23名(21) 立教15名(14)
明治32名(53) 同志社14名(18) 立命館32名(47)

2. 校種別合格者延数

入試年度	校種		国立大		公立大		私立大		短大・準大・各種		合計	
	現	既別	現役	既卒者	現役	既卒者	現役	既卒者	現役	既卒者	現役	既卒者
令和5年度	146	10	28	1	769	28	7	0	950	39		
令和4年度	153	8	53	1	1,110	30	13	0	1,329	39		
令和3年度	145	9	39	3	951	31	14	1	1,149	44		

3. 校種別・系統別による現役合格者延数

校種	人 文			法・経・商・社会			理 工			医歯薬医療			教 育		
	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3
国立	14	12	12	16	30	13	81	59	71	7	12	13	20	24	18
公立	4	4	4	9	16	10	3	9	8	8	17	13	1	0	0
私立	143	176	164	185	369	193	278	281	307	36	111	131	43	47	57
国公立短	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	6	0	1	0
準大・各種	0	0	1	0	0	0	2	2	2	3	1	2	0	0	0
合計	161	192	181	210	416	216	364	351	388	54	143	165	64	72	75

校種	農 水 産			家 政			そ の 他			合 計		
	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3	R5	R4	R3
国立	6	8	8	0	3	0	2	5	10	146	153	145
公立	1	1	2	0	0	0	2	6	2	28	53	39
私立	26	30	20	12	49	20	46	46	59	769	1,109	951
国公立短	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	5	7
準大・各種	0	0	0	0	0	0	2	0	0	7	3	5
合計	33	39	30	12	53	21	52	57	71	950	1,323	1,147

静岡県立富士高等学校・旧制富士中学校卒業生 人材の情報提供のお願い

本校の卒業生も30,000余名を数え、多くの方々が各界で活躍されています。本校同窓の方々による母校のためへの有形無形の御協力に対して、心より感謝申し上げます。在校生にとっては、諸先輩方の活躍ぶりを見聞きすることで、母校愛を深めるとともに進路選択にも大きな目標となっています。

現在本校では、卒業生やPTAの方々を講師に迎え、「進路講話」を実施しています。また、大学訪問や進学相談等でも諸先輩方の話を伺うこともあります。これらの機会は生徒にとってたいへん貴重なことで、進路決定にたいへん役立っています。そこで、今後も進路指導や教科指導さらにPTA活動などで御協力いただきたく、各界で御活躍されている本校卒業生の方々のデータベース化を進めたいと思います。つきましては、下表のような形式でファックス・郵送などにて情報を寄せていただければ幸いです。

また、お寄せいただいたデータにつきましては、①富士高生に対する講話等の依頼以外には利用いたしません。②講演等を依頼する場合には、学校が責任を持って改めて御本人に了解を取ります。

(富士高校進路課)

項目	内 容
1	大学・諸機関で教育・研究職にいる方
2	上場企業等の経営者など
3	文化活動・執筆・芸能界・スポーツ等で活躍の方
4	国・地方自治体で活躍の方
5	その他

注意事項：本校卒業と公表されてもよい方を御紹介ください。

自薦他薦を問いません。

情報を提供してくださる方の連絡先もお知らせください。

該当者氏名	本校卒業年次	活 動 内 容	連絡先など

郵送の場合 〒416-0903 富士市松本17 富士高校 進路課（奥村）宛

FAXの場合 0545-64-7349 富士高校 進路課（奥村）宛

事務局より

毎年お願いしております富友会・クラブ後援会賛助金は、昨年度一、〇一四件のご協力をいただきました。大変ありがたく思っております。

賛助金はお気持ちですので、おいくらでも（一口に満たない一、〇〇〇円、二、〇〇〇円でも）構いません。なお金額を変更する場合は、お手数ですが郵便局での手続きとなります。よろしくお願い致します。

今後とも富友会の活動にご理解いただきますようお願い申し上げます。

振り込め詐欺にご注意下さい

振り込め詐欺につきましては、この数年報告を受けておりませんが、相変わらず県内の高校で名簿を悪用したと思われる被害が発生しています。「携帯電話が壊れた」という電話は詐欺と思い、警察に通報して下さいませようお願い致します。

富友会ホームページについて

富友会のホームページがあります。富士高校のホームページと富友会のホームページとリンクしています。是非ご覧下さい。各支部・各年次の活動等の紹介・情報発信、同窓会開催時の掲載もできます。積極的にご利用下さい。また、一口五、〇〇〇円で、バナー広告を受け付けています。

令和4年度 富友会会務報告

令和4年

4月8日(金)

第1回常任幹事会 富士高校特本4A教室

総会について

100周年記念事業について

5月10日(火)

第2回常任幹事会 富士高校視聴覚室

総会について

会計報告等、100周年記念事業について

7月13日(水)

第3回常任幹事会 富士高校視聴覚室

総会について

100周年記念事業について

7月15日(金)

部活動奨励金授与式 富士高校視聴覚室

山岳部(女子)、陸上競技部

百人一首部、新聞部、美術部、書道部、

囲碁将棋部

定時制：柔道部、陸上競技部

7月26日(火)

100周年第5回実行委員会兼第7回正副

専門部会長会 富士高校視聴覚室

各部会進捗状況説明

8月20日(土)

富友会総会 富士交流プラザ多目的ホール

会務・会計報告、事業計画等

担当：高校33回

記念講演「ミステリー作家の作法」

作家 横関大(高45回)

9月28日(水)

第4回常任幹事会 富士高校視聴覚室

総会の報告

100周年記念事業について

10月18日(火)

100周年第6回実行委員会兼第8回正副

専門部会長会 富士高校視聴覚室

各部会進捗状況説明

11月11日(金)

創立100周年式典

(百尺竿頭―高みに向かって一歩前進―)

富士市文化会館ロゼシアター

記念式典

記念イベント

1 記念ソング披露

結花乃「学び舎」はじまりの鐘

2 パネルディスカッション

テーマ「富士高の歴史と未来」

【パネリスト】

石井靖幸(高32回) 秋山信将(高38回)

田ノ上博規(高56回) 結花乃(高60回)

菊池咲来(生徒会長)

【コーディネーター】

青木このみ(高72回)

3 生徒発表

理数科課題研究、総合的な探求の時

間「心見考」

4 エンディング

令和5年

2月27日(月)

富友会入会式

富士高校体育館

入会の言葉・学年幹事長 田嶋麻菜

記念品贈呈

学年副幹事長 鈴木鴻志朗

船村会長・小池幹事長出席

富友会奨学金授与式 富士高校小会議室

奨学生…全日制6人 定時制4人

船村会長出席

部活動奨励金授与式 富士高校小会議室

ハンドボール部(女子)

3月27日(月)

100周年第7回実行委員会兼第9回正副

専門部会長会 富士高校視聴覚室

各部会報告

令和5年度 富友会会務報告

5月8日(月)

第1回常任幹事会 富士高校視聴覚室

100周年記念事業決算報告等

8月19日(土)

総会…富士交流プラザ

懇親会…ホテルグランド富士

6月14日(水)

第2回常任幹事会 富士高校視聴覚室

総会について

事務局だより

○卒業年次毎のタックシールを印刷します。

同窓会等の案内にご利用下さい。料金は

一、五〇〇円です。サラトまでご連絡下さ

い。

○校内幹事の異動について

この春の校内幹事の異動は次の通りです。

転出

数学 望月 伸浩 沼津東高等学校

体育 石川 直樹 退職

理科 前林 千裕 退職

転入

英語 白石 実里

国語 中山 洋一

社会 山形 郁代

数学 大平 和成

数学 佐藤 房生

体育 小川 修平

校内幹事は、現在21名です。校内事務の取りまとめは青木照明(34回)が行います。よろしくお願ひします。

令和4年度 富友会寄付年次別一覧 (令和5年4月19日現在、単位：千円)

旧職員	年次(中学)																										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18 ^㉔	18 ^㉕	19	20	21					
寄 付	9	寄 付	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4	6	0	0					
年次(高校)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	27					
寄 付	4	16	21	17	46	30	42	32	37	73	57	44	28	44	46	24	56	27	90	63	67	40	52	76	22	86	30
年次(高校)	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54
寄 付	30	88	53	36	32	45	48	22	40	16	21	23	16	32	16	18	20	22	6	21	19	10	8	12	12	10	6
年次(高校)	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	定	一	合計			
寄 付	41	4	8	4	14	2	4	10	2	4	8	16	18	12	22	12	20	24	26	56	0	53	2	2,235,000			

総件数 1,014件 合計 2,235,000円

令和4年度 富友会 収支会計報告

一、収支計算書 (令和4年4月1日~令和5年3月31日)

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
I 事業活動収支の部		
1 事業活動収入		
①入会金収入	1,396,500	全日制5,000円×276名 定時制1,500円×11名
②賛助金収入	2,159,005	会報発行協力金
③名簿売上収入	0	
④負担金収入	500,000	100周年実行委員会から広報資料郵送負担分
⑤各種代金収入	0	
⑥雑収入	14,592,753	定期・普通預金利息、3年生学年会計残金、寄付
事業活動収入計	18,648,258	
2 事業活動支出		
①富友会奨学金支出	420,000	全日制5万円×6名 定時制3万円×4名
②部活動奨励金支出	450,000	団体10万円×3 個人1万円×10 定時制5万円
③記念品代支出	236,700	卒業証書ファイル
④総会助成金支出	0	
⑤会議費支出	0	
⑥通信費支出	31,377	切手・郵送料
⑦会誌印刷代支出	3,730,144	
⑧会誌発行作業経費	0	
⑨慶弔費支出	104,810	
⑩広告宣伝費	238,370	H.P.管理費
⑪教員餞別支出	113,000	
⑫寄付金	0	
⑬雑費支出	13,052	卒業アルバム、振込手数料
⑭100周年雑費	41,740	カンボジア訪問教員旅費
事業活動支出計	5,379,193	
事業活動収支差額	13,269,065	
II 投資活動収支の部		
1 投資活動収入	0	
2 投資活動支出	0	
投資活動収支差額	0	
III 財務活動収支の部		
1 財務活動収入	0	
2 財務活動支出	0	
財務活動収支差額	0	
当期収支差額	13,269,065	
前期繰越収支差額	1,970,171	
次期繰越収支差額	15,239,236	

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲 資金には、普通預金の他に未収入金を含めております。なお前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりであります。

2 次期繰越収支差額の内訳

(単位 円)

科 目	前期末残高	当期末残高
普通預金	1,970,171	15,239,236
未収入金	0	0
合計	1,970,171	15,239,236
次期繰越収支差額	1,970,171	15,239,236

二、正味財産増減計算書（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

（単位 円）

		当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
	①入会金	1,396,500	1,656,500	▲ 260,000
	②賛助金	2,159,005	2,273,106	▲ 114,101
	③名簿売上収益	0	6,000	▲ 6,000
	④負担金収入	500,000	500,000	0
	⑤各種代金収入	0	1,000	▲ 1,000
	⑥雑収入	14,592,753	25,836	14,566,917
経常収益計		18,648,258	4,462,442	14,185,816
(2) 経常費用				
	①富友会奨学金	420,000	420,000	0
	②部活動奨励金	450,000	210,000	240,000
	③記念品代	236,700	260,000	▲ 23,300
	④総会助成金	0	0	0
	⑤会議費	0	51,703	▲ 51,703
	⑥通信費	31,377	18,100	13,277
	⑦会誌印刷代	3,730,144	3,731,981	▲ 1,837
	⑧会誌発行作業経費	0	0	0
	⑨慶弔費	104,810	51,600	53,210
	⑩広告宣伝費	238,370	286,000	▲ 47,630
	⑪教員饗別	113,000	102,000	11,000
	⑫寄付金	0	0	0
	⑬雑費	13,052	196,092	▲ 183,040
	⑭100周年雑費	41,740	0	41,740
経常費用計		5,379,193	5,327,476	51,717
当期経常増減額		13,269,065	▲ 865,034	14,134,099
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益		1,999,183	▲ 3,053,161	5,052,344
(2) 経常外費用		0	0	0
当期一般正味財産増減額		15,268,248	▲ 3,918,195	19,186,443
一般正味財産期首残高		10,747,368	14,665,563	▲ 3,918,195
一般正味財産期末残高		26,015,616	10,747,368	15,268,248
II 指定正味財産		該当ありません		
III 正味財産期末残高		26,015,616	10,747,368	15,268,248

三、令和4年度貸借対照表 令和5年3月31日現在

（単位 円）

資産の部	金額	正味財産の部	金額
(流動資産)			
・ 普通預金	15,239,236	1 指定正味財産	0
・ 未収入金	0	2 一般正味財産	26,015,616
・ 定期預金	10,776,380		
資産の部合計	26,015,616	正味財産の部合計	26,015,616

四、令和4年度財産目録 令和5年3月31日現在

（単位 円）

項 目		金額
① 普通預金	静岡銀行 富士支店 no.0270280	109,966
	スルガ銀行 富士支店 no.255-038	28,964
	清水銀行 富士支店 no.2340097	211,118
	しずおか焼津信用金庫 吉原支店 no.0604563	14,889,188
	合 計	15,239,236
② 未収入金	㈱サラトより未収入金	0
③ 定期預金（基金）	静岡銀行 富士支店 no.0089320	10,776,380
	合 計	10,776,380
①+②+③ 総 合 計		26,015,616

上記の通り報告いたします

令和5年4月1日 会計幹事 加藤 佑太郎

監 査 報 告 書

令和5年4月1日
会計監事 佐野 良治

- 1 私は、静岡県立富士高等学校「富友会」の令和4年4月1日から令和5年3月31日に至る会計年度の決算報告について、次の事項を監査した。
- (イ) すべての財源及び使途
(ロ) 年度末の経理状況が適正に表示されているか
- 2 この監査にあたって、私は、通常実施すべき監査手続きを実施した。
- 3 監査の結果、静岡県立富士高等学校「富友会」の会計処理は適正で、富友会会則に従って処理されており、また、令和4年4月1日から令和5年3月31日に至る会計年度の決算報告書は「すべての財源及び使途」及び「年度末の経理の状況」を適正に表示しているものと認める。

以上のとおり報告いたします。

表紙写真を提供していただけますか？

富友会会誌の表紙になる富士山の写真をお持ちの方、御提供下さい（縦長の構図で、初夏のものを希望します）。来年5月までに富友会校内幹事までお寄せ下さい。



【富士高校卒業生が狙われています！】

～サギ電話は必ずかかってきます!!～

詐欺グループから押収した名簿やリストの中に、富士高校の卒業生名簿がありました。

実際に富士高校の卒業生宅を狙って不審電話が多発しています。

自分は大丈夫と思っていても、御実家の御両親や祖父母などが犯人のターゲットとなっています。

あなたや御家族の大事な財産を守るため、「家族間の合言葉」や、「不審な電話を受けた際の確認ルール」等をあらかじめ決めておき、騙されないための防御をしましょう。



富士警察署・富士防犯協会

0545-51-0110



富友会会誌 No.76

令和5年7月24日発行

発行所 静岡県立富士高等学校同窓会富友会

静岡県富士市松本17 ☎ 0545(61)0100 FAX 0545(64)7349